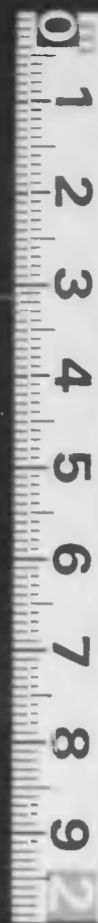


週寫  
報眞

編輯部報情閣内  
ンセ十・號五十六第・日七十月五

太平洋を我が海と





伸ばせ皇國の生命線

南に北にわが海國防衛を確保と守る帝國海軍は  
五月二十七日、奉天下にその雄姿を第三十四回の  
光輝ある遠征記念日を迎ふる。(写真は帝國海軍の活躍  
と最前線にシニアジニ官邸)  
撮影 小石 清



開拓満洲

千里の沃野は招く土の戦士を！  
先づ實情を視察し國家百年の大計を  
認識せよ

野菜も子供も豊作だ(千歳村にて)

視察上の詳細は  
滿鐵鮮滿支案内所へ  
東京丸ビル 同赤坂英町  
大阪御筋 名古屋横小阪  
門司税關前 下關驛前  
新潟古町通

滿鐵總局

# 太平洋を我が海と



近代海上戦の花形一萬噸巡洋艦、その雄々たる威容と、スマートな型態はまた一個の藝術作品ともみられよう。しかも、列強の同級巡洋艦に比べて戦闘力の遙かに優れてゐること、はわれ／＼日本國民としての大きな誇りである。

いま淀泊中の巨艦は山のような勝敵をその外観にみせてゐるが、一步艦内に入れば、猛訓練で目の廻る忙しさだ。

## 海軍記念日 を迎へて

明治三十八年五月二十七日  
聯合艦隊から大本營に達した「敵艦見ユ一」の第一報の原文はこんど新たに海軍館に陳列されることになった。

事變第三年われらは第三十四回海軍記念日を迎へることになった。時局は正に愈重大の度を加へ、海軍に一段の努力を要するの時、日本海軍の臨時の臨時の偉業を回想することは、海軍に有意義なことであると思ふ。

聯合艦隊司令長官東郷下海軍大臣は「バルチック」艦隊を前にて、敵の東洋艦隊を捕り、逐次艦隊の整備、人員の補充交代等を完了の上、朝鮮海峽附近に集合して猛訓練を開始した。その猛訓練は有名なもので、先鋒隊將士があの時は「一と、感涙に涙草として傳へられるものであり、一戦、すして勝つ」の實力と信念を練成獲得して敵艦の來航を今や遂しと待ち構へて居たのである。

明治三十八年五月二十七日早朝、大本

營に聯合艦隊からの電報が來た。「敵艦見ユ一」の第一報は聯合艦隊八直に出動、之ヲ撃滅セントス、本日天気晴ナレドモ波高シ第一電である。艦隊出動！決戦を目指して堂々と進軍し、猛進撃を開始した聯合艦隊の威風を想起するだけでも心が躍る。

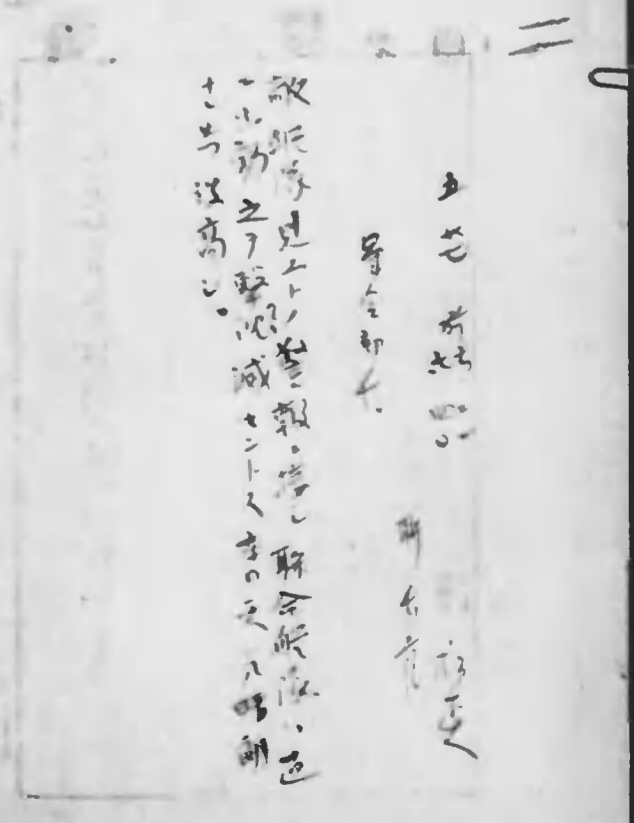
かくて同日正午過ぎに待った敵艦隊を捕獲し「皇國の美譽此の一戦にあり、各員一層奮勵努力せよ」の名義號に戦勇は開始せられ、わが卓越せる實力により戦勇開始後僅か三十分にして既に戦勇の算然たるものあり。翌日まで激戦數十合、遂に敵の大艦隊を文字通り撃滅して、畏くも

「朕ハ汝等ノ忠烈ニ依リ祖宗ノ神靈ニ對フルヲ得ルヲ權フ」との前列なき傳説を拜したのである。

こゝに敵の全艦隊は撃滅せられ、制海權は完全にわが手に落ち、露國は海上には手も足も出せず、本海軍を轉機として遂に日露戦役を結局に導くことゝなつたのである。

今やわれらは事變下に再度この戦勇ある海軍記念日を迎へた。われらは當時の先軍の功業を追憶し、戦死の英靈、戦傷の勇士に感謝の意を捧ぐると共に、現下においてわが國が直面する幾多困難の上つて來たることを探求し、また幾多困難を極める國際關係と列強軍備充實の趨向に想を馳せ、制海權の重要性を痛感し「一層奮勵努力の覺悟を新にする次第である。

海軍省海軍軍事普及部



訓練一まじり終つて皆が楽しい夕食についてゐるとき甲板では甲板直員が特に西の海に落ちようとする夕陽を浴びて勤務についてゐる。日没と共に再び夜戦訓練がはじまるのだ。

昨日は素晴らしい晴天だったが、艦隊司令部は数百キロの沖まで飛んで観測してきた飛行機の報告及び氣象観測に基づいて今日の晴天を豫断し演習開始を延期した。艦隊は勿論晴天の如何を問はず訓練を強行することがあるが、普通は研究の種に應じて適當な天候を待つ。この場合天候の豫断を誤ると、艦隊が出動するためには数時間前から汽笛を吹いて蒸氣をつくつておく）のために巨額の燃料費を無駄にしてしまはねばならない。



撮影 内閣情報部情報官  
海軍少佐 山口 肇



太平洋を

我が海と



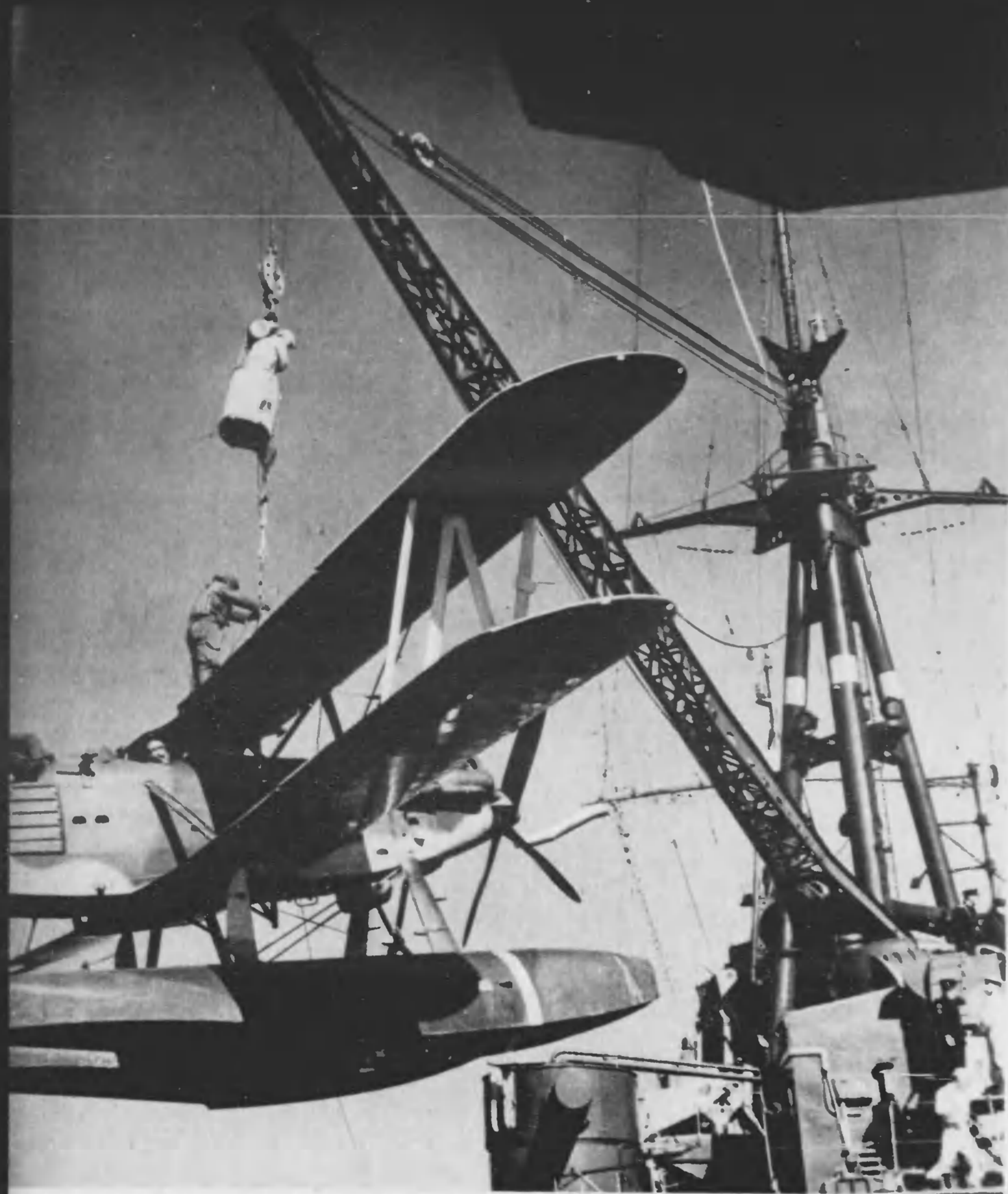
快晴、いよ／＼艦隊出動だ。旗艦の橋頭高く掲げられた信旗がする／＼と降りると、『出港用意』の喇叭が響くと鳴り渡る。艦橋からは『鐘を撞げ』の艦長の命令が力強いペースで響いてくる。揚鐘機が鈍重な響きを立て、静かに廻轉する。鐘が海底を撞げる瞬間を起鐘といつて航、泊の境目である。これで陸との縁を切つて急大海原へ向ふのだ。

腹がへつては眠は出来ない。千人に近い乗員のたくましい胃袋を保護する艦の箇所は、近代設備を誇つて合理的に整然と調理が行れる。所で、演習の際は主計科員の訓練として戦列炊炊といふ變つた作業が始まる。これは乗員が夫々の被覆配置の持場を動かなくとも食事の出来るやうに撥飯をつくり竹の皮に包んで渡して廻るのだ。あつい飯を數百と添るのでなれないと事を火傷してしまふ。

早飯は武士の嗜みとされてゐる。こゝにはくつく海の戦士たちもなか／＼早い。腹は出来た。一寸一服といふところで傳令は馳せ來つて號令を傳へる『配置に掛け！』

艦橋では潜水艇、航空機の奇襲に備へて見張に忙しい。艦橋のどこをみても異変な疑。

水雷艇隊はいま、主隊の傍らを守り抜いて敵に突撃する。既に敵を呑む態勢だ。

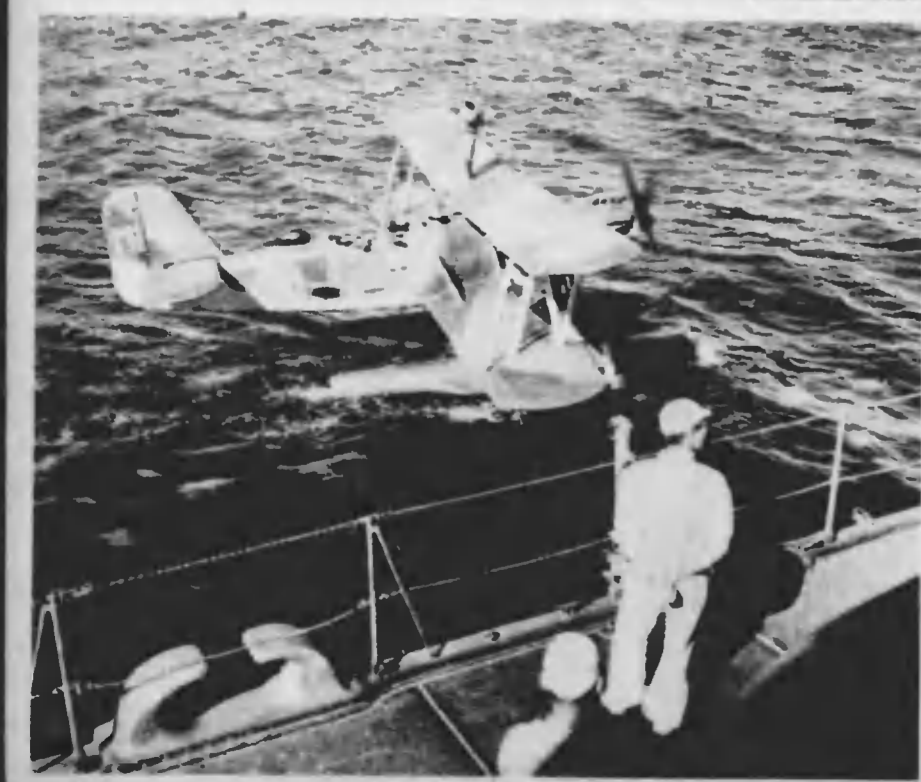


太平洋を  
我が海と



↑ 東敵に出動した飛行機から「敵艦見ユ」の報はついにきた。「敵艦隊の位置北緯〇〇度〇〇分、東經〇〇度〇〇分、西北西に向ッテ進航中」全艦直ちに全速力、決戦の時機はいよいよ迫つた。

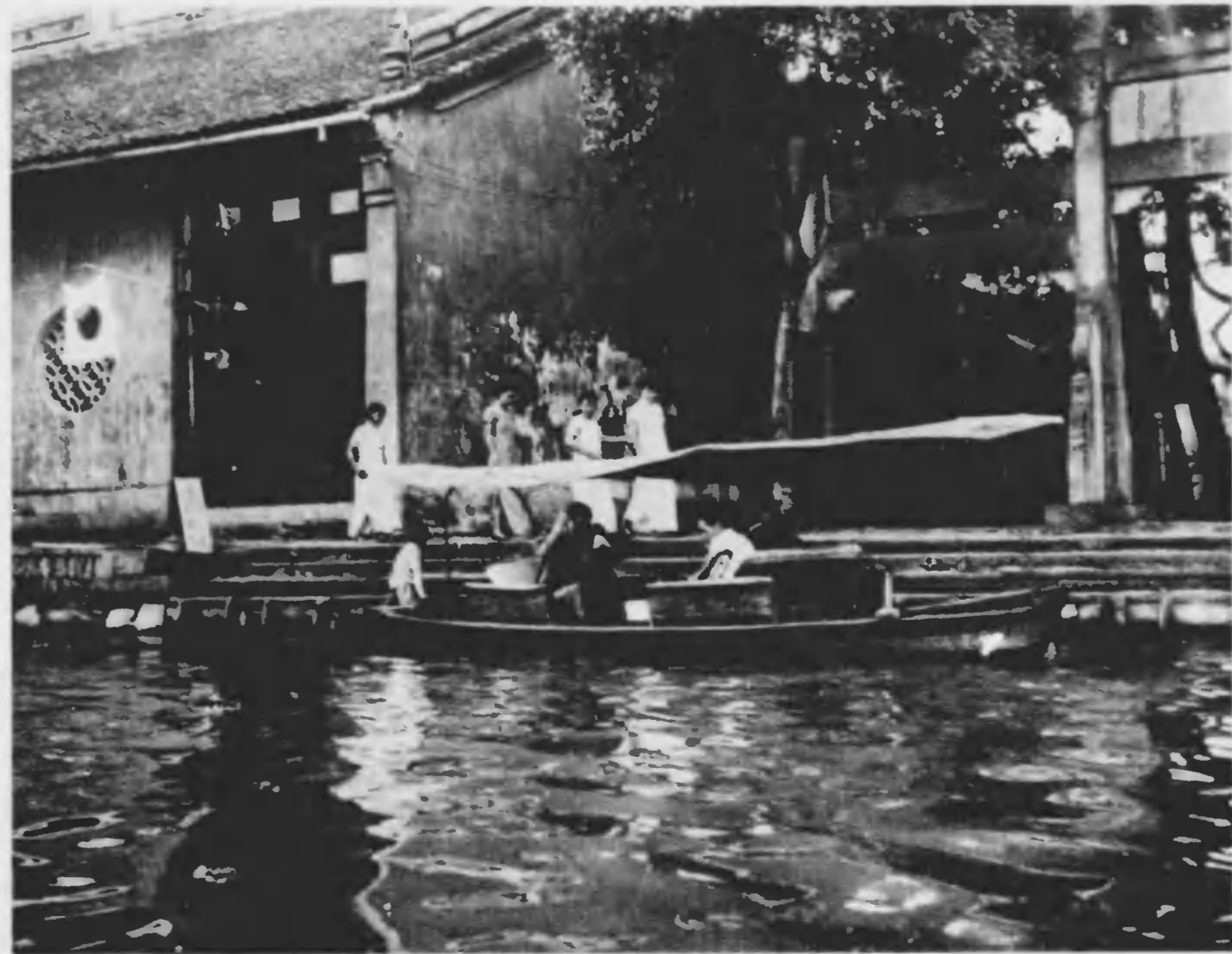
□ 演習はすんだ、やれ〜一休みといふ暇もなく直ちに大砲の手入だ。えんさ〜と砲員が石鹼水で砲内を洗ふ。



□ 艦上を離れ大空を縦横に飛廻つた艦載機はいま歸つた。艦隊戦闘に偉大な戦果を収めたのだ。かくて武勳に輝く海の荒鷲はクレインで艦上に揚放され、次の戦闘に待機する。

□ 敵艦見ゆ！バルチック艦隊の運命は一條の空によつて決定した。いまや我が艦隊は高速をだしても黒い煙ははかぬ。煙幕最強の時以外は「黒煙濃々天を沖す」とその威勢を形容されたことも昔語りとなつた。





# 江南好 杭州の初夏

蘇堤、白堤の柳並木は水々しい緑をたねてゐる。湖中に投影する尖塔は初夏の薫風にゆれ、湖邊にたむむる姑娘の想はいつむ。

西湖の山よ、島よ、水よ、行人は兼好に江南の景を愛でる。江南好、風景もとて、春花、紅火に勝り、春來つて江水鏡藍の如し、能く江南を憶はざらんや。  
(白樂天)

「蘇堤空船悉く湖底に沈み、西湖には一葉の風舟もなし。たゞ三潭の影に湖上の風は寒し……」一昨年の暮、皇軍の果敢な波洋爆撃に次いで杭州に入城した皇軍の勇士が江南の名所西湖の景勝を憐嘆した聲であつた。  
・東洋の公園とまでいはれた西湖がもつ造園の風趣は江南の春深まるとともに濃り、柳花繡紛と舞ふ楊柳並木を散策する人影は漸く多い。湖上に浮ぶ畫舫は小波にゆれ、胡弓の哀音は西の日が楊柳を照らす湖上を靜かに洗れてゐる。



杭州に平和かへるいま、西湖を圍む古刹のあるところ、布袋は柔らかに微笑む。「お嬢さん、ご覧！湖上に漁りする平和な漁民の姿を！」

もや／＼と湖は薄闇に包まれ湖上をすべる扁舟を呑む。明闇さかむ江南の景勝に呆然とする姑娘はまさに畫中の人。

撮影 長 濱 康 三



# 訪日ガブレイツ機来る

五月四日

機首高く日獨兩國旗を掲げ、機首を向け、歓声に止まれば、歓迎の人波は先を争って駆けよつた。

ナチスドイツが送る今年最初の訪日観音機、ルフトハンザ航空会社の重役フォン・カブレイツ機長と乗客乗組員五二名は五月四日午後二時三十分、成田空港に着陸し、乗客乗組員五二名は五月四日午後二時三十分、四月二十二日、ベルリン、テューリンゲン飛行場を出発したガブレイツ機はコンドル機とは違って四名の乗客の他に男女四名の乗客を載せ、記録飛行の代りに安全第一、低速の飛行をとり、シールドブルとノイでは一人づつ、降参を降し、一萬四キロを十二日、日獨防共線を結ぶ初の旅客機として天晴れの成功を遂げたのである。ガブレイツ機は十二日東京を出発して満洲國を訪問したのも、歸國の途につく途である。



午後二時鮮艦隊が上空に姿を現はしたガブレイツ機は悠々大きく一旋回するや鮮やかに新装の滑走路に着陸した。

ようこそ盟邦の親善使節！ 場内に設けられた歓迎式場はガブレイツ機一行を囲んで感激の乾杯、萬歳の声にどよめいた。

撮影 内閣情報部



# 空の

## 轉轍室

東京飛行場

撮影 内閣情報部



操作室の操作盤——飛行場の平面圖を前に信號燈のスキームは悉然と列んでゐる。いまこの室から見たら到着のサイレンと共に大阪發の上り定期便は悠々と着陸した。

風向表示機——飛行機が着陸する場合には風の方向を知ることが何よりも肝心なことである。最新式のこの表示機はT字型をしてゐるからT字風向表示機ともいはれる。字の方向が風の方向である。



一躍五萬坪を擴張して諸設備を一新した東京飛行場が誇るものに飛行機發着信號操作室がある。広い飛行場を一望の下に見渡すガラス張りの室、夜間着陸のために備へた場内二十餘種類の信號燈は凡てこの操作室の操作盤上に悉然と並ぶスキームで自由自在に點滅され、わづか一人の操作者さへあれば夜間いつ飛行機が飛んできても安全な着陸準備がとよふのである。

航空燈塔を目標に闇の夜空を傳へて飛行機が近づくのを見上からの無線、箱根を通過する場合は箱根無線塔からの無線によつて知ると、さかからうした報告なしに不意に飛行場上空に現はれ、場合でも、操作者は到着のサイレンを鳴らすと共に盤上のスキームを次々とひねると、場周燈、降着燈、風向燈、風力燈、雲高燈、着陸燈等は一齊に煌々と輝いて、飛行場の存在、飛行場上空の氣象は毫間と同様に飛行機の操縦者により、地理に明らわがぬの飛行機は勿論、土地不案内の外國機でも少しの不安もなく安全に着陸が出来、國際飛行場として恥しからぬサービスをうけるわけである。



操作室と雲高燈、及び風力燈——雲高燈は一種の照空燈で、強力な光芒を飛行場上空の雲に當て、雲の高さを知る。風力燈はネオンサインの數字で風力を一目瞭然と示す。現在の風速毎秒十六メートルである。また操作室屋上には警報機が設備され、飛行機到着のサイレン、非常警報用となる。

航空燈塔と、降着燈——十二萬燭光の航空燈塔の點滅も操作室でやる。屋上に點る赤い降着燈は着陸の際に危険な建物の位置をはつきり知らせる。



風向表示機と場周燈——風向表示機には赤と青の電球が交互に列んでゐて、夜間でも明瞭にT字型を示して風向を知らせる。そして青の光の場合は「着陸良好」、赤の場合は「着陸待て」の信號となる。飛行場の風向はボウ／＼光る場周燈は飛行場の範圍を知らせる。

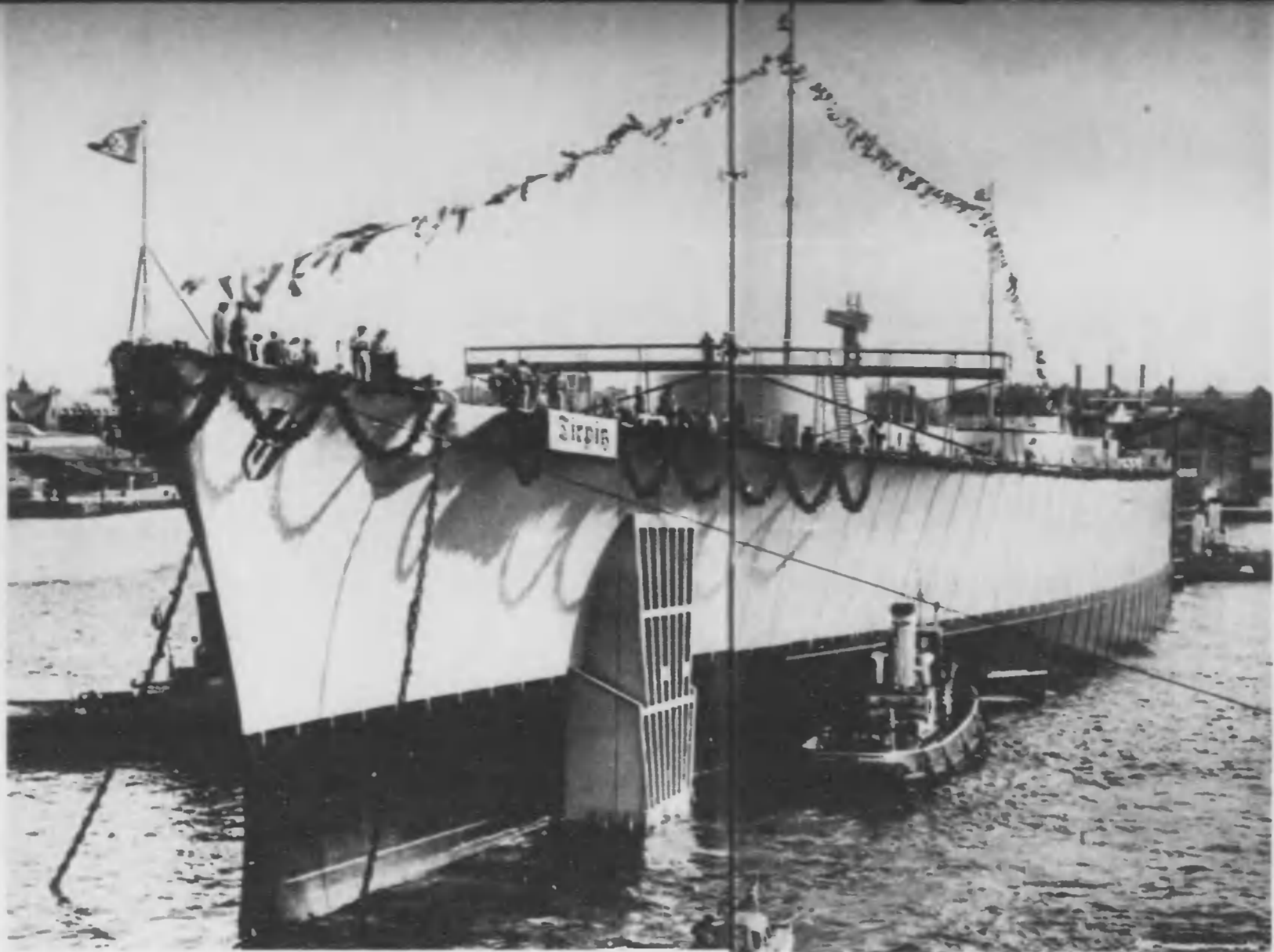


# 信 通 外 海

## 怪火で沈没した フランスの豪華船

ニューヨーク結核のフランス商船「ル・アール」(三萬四千五百六十九トン)は、アール港で四月十八日夜火災を起し沈没した。同船には軍用機、金塊、ニューヨーク世界銀行名義等が積載されていたが、これらは何れも事なきを得た。なほ、出火原因は不明であるが、フランス當局はこの種機種の運送を最近の歐洲情勢にむきつけて神経をとがらし調査に躍進したとみられる。

高気圧はパリ沈没過程を空中から撮影したもの。上の写真は、手前にあるのは同船最大の豪華船「ルマンデー」



## ヒットラー總統第五十回 誕辰記念スタンプと肖像畫

四月二十日ヒットラー總統の第五十回誕生日を迎へたドイツは祝賀を擧げての祝賀の催しを行つたが、ベルリン、ミュンヘン、ウィーン、ブレスラウ、ニュールンベルク、ザールブリュッケン、エガール、メーメル各郵便局は、喜慶のやうな記念スタンプを使用した。右はドイツ現代の有名な畫家リントマール氏の筆になるヒットラーの肖像畫。

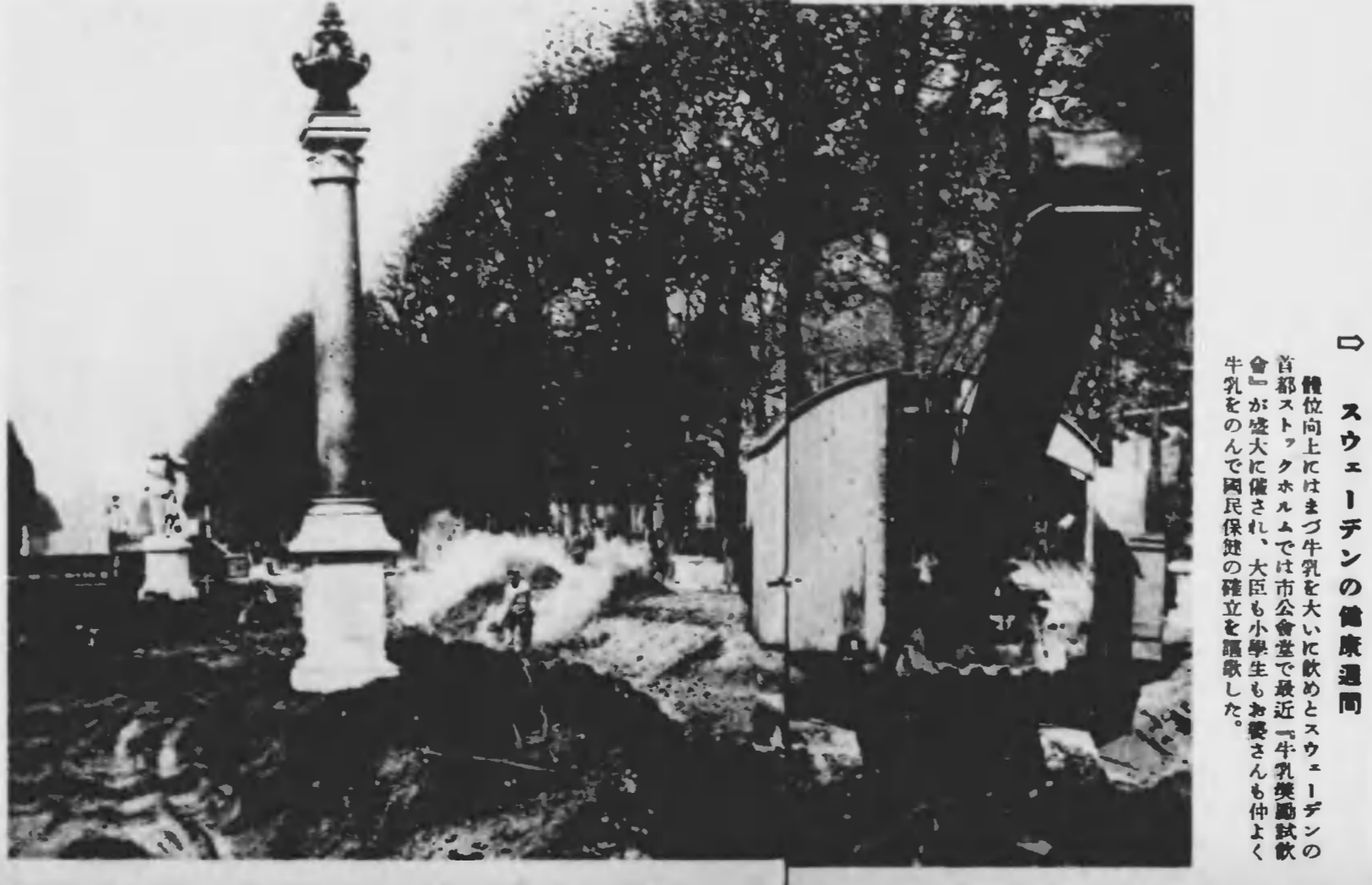


## ガフエンコ羅外相と フンク獨經濟相會談

いま歐洲の大震盪と目されてゐるルーマニアの外相ガフエンコ氏は四月十八日列強注視のうちにベルリン到着、ヒットラー總統、リッペンントロップ外相、フンク經濟相との他と重要會談を遂げたが、この會談によつてルーマニアはドイツとの經濟協定を積極的に行進したい意向を強調した。野郎は四月十八日夜ベルリン、エスプラナードホテルで會談するガフエンコ羅外相(左)、フンク獨經濟相(中)。

## 獨主力艦「ティルピッツ」 進水す

二月中旬進水した「ビスマルク」の姉妹艦でドイツ海軍の誇る三萬五千トン級主力艦「ティルピッツ」の進水式は、四月一日ヒットラー總統臨席の下にウイヘルムスハーフェン軍港で舉行された。嵐の前夜を思はせる歐洲の現情勢下にあつて相次ぐ巨艦の進水はドイツ海軍力に劇期的な威力を加へることである。



## スウェーデンの健康週間

體位向上にはまづ牛乳を大いに飲めとスウェーデンの首都ストックホルムでは市公會堂で最近「牛乳獎勵試飲會」が盛大に催され、大臣も小学生もお婆さんも仲よく牛乳をのんで國民保健の確立を謳歌した。

富貴協會

# 貯蓄債券 支那 事変



四千金増割券一・四十枚一  
 出賣 六月十五日 三時止  
 大藏省・日本勧業銀行



**代用品背囊**  
 新潟市 渡邊 敬衛  
 代用品時代！新潟県西蒲原郡坂井輪村新道青年学校では軍事教練に必要な代用品背囊の製作を急いでいたが、このほど並排の空箱に管をあしらった立派な背囊が出来上がった。全生徒百五十名は新家の背囊姿も魂爽と校庭に整列した。

**進軍の夢**  
 松本市 小宮 義雄  
 一日中戦ごつて疲れた子供がお宮の境内を遊軍してゐる夢でもみているのであらう。夢強く、正しく育てよう明日の日本のために



所 込 申	價 定
内閣印刷局發行課 電話九ノ内(29)三五一九 郵便東京一九〇〇	一 十 銭 半ケ年(前金)二圓四十銭 一ケ年(前金)四圓八十銭 (一ケ年九圓十二銭) 半ケ年分未済債額希望の方は一割十銭の割合を以て前金を減(御申込下さい)

昭和十四年五月十七日印刷発行  
 内閣情報部  
 東京市墨田区本町  
 内閣印刷局  
 東京市墨田区大手町

**寫眞週報(禁轉載)**  
 決戦の火蓋は切られた。全速力の軍艦隊主隊が一瞬方向転換すると見るや、敵十門の巨砲は一齊に叩き、天に轟き、硝煙は海を覆ふ。渺茫の太平洋をわが海とくろがねの巨體に黒潮のしぶきあびつゝわが艦隊は猛訓練をつづける。

撮影 内閣情報部情報官  
 海軍少佐 山口 豊

讀者のカメラ

讀者のカメラ  
 募集規定  
 一 寫眞は縦横長に撮影せよ  
 二 寫眞は大ききものを  
 三 寫眞は一枚一枚に  
 四 寫眞は一枚一枚に  
 五 寫眞は一枚一枚に

# 結核

## 豫防に…… 栄養に……



一粒で  
一分の肝油  
と同じビタミン  
A・Dがある

結核に對する確なる治療薬の缺ける今日  
罹病してから大騒ぎして多額の費用を投じ  
病床に悩むよりは、むしろ罹らぬよう……  
平素から呼吸器の防壁を強化してこれに備  
へることが大切で、かやうな目的に肝油  
ハリバがたいへん賞用されてゐます。

肝油を適用すると体内にビタミンAとDが充分に補給  
され、皮膚は光澤を増し、結膜は常に濕潤性を保ち、病  
菌が附着しても、すぐにこれを洗除し得る抵抗力が付き  
ます。加ふるに太陽の紫外線を浴びると同様に、体内に  
於けるカルシウム及磷の代謝機能を援けて筋骨を丈夫に  
し、病菌に對する呼吸器の抵抗力を強化し得られます。

### 肝油はハリバの時代

ハリバは従来の肝油と全く異  
り、一粒中ビタミンA三六〇  
〇國際單位、ビタミンD五〇〇單位と言ふ極めて高單位  
な濃厚肝油です。従つて大人でも一日三四粒の微量服  
用で足り、臭くなく、お腹にもたれず、どんな胃腸の弱  
つた方でも、樂々と永く飽きずに連用し得られます。

百粒三圓五十錢  
五百粒十圓五十錢

## 一粒肝油



東京・大阪・田舎商店

内閣印刷局印刷發行

(刊信) 報週・A4倍規定網社大の書本

高真週報 昭和七年五月二十日 第百九十五号 東京印刷局發行